

「みどり」と「イノベーション」の融合拠点 うめきた2期のまちづくり

URは都市再生のプロデューサーとしてうめきたプロジェクトを推進しています



都市再生プロジェクトの 総合プロデュースを担う UP

都心に残された最後の一等地、大阪駅前の貨物ヤード跡地の大規模複合開発「うめきたプロジェクト」。快適で活力に満ちた世界に誇れるまちづくりを目指し、産学官が総力を結集して取り組んでいます。

UR都市機構は、公民連携で進める本プロジェクトのプロデューサー。現在進行中の2期区域が目指すのは「みどり」と「イノベーション」の融合拠点。まち全体を「みどり」が包み込み、ここにしかない都市景観を創出するとともに、世界をリードする「イノベーション」の拠点となり、世界中から訪れる人々に新たな交流空間を提供します。

祝 拔張開業！

西へと広がる、うめきたの中核JR大阪駅

開業記念 interview



西尾氏・大阪駅の拡張は本プロジェクトにおいて非常に大きな役割を担うと捉えています。まちへの注目度も高まり、うめきたプロジェクト全体を知つていただく機会につながったと感じています。

—今後はどのような取り組みが予定されていますか？

河端氏・2期区域の開発はこれからも続きます。現在、この大阪駅（うめきたエリア）を経由する

西尾氏・たくさんの方々が集い「いい空間だ」と実感していただけることを目指に、プロジェクト関係者が一丸となってまちづくりを進めています。ぜひ新改札口をご利用いただき、うめきたのいまを見にきていただきたいと思います。

A portrait of a young man with short dark hair and glasses, wearing an orange and black jacket. He is looking slightly to his left.

新路線「なにわ筋線」の整備を進めており、2031年春の開業を目指しています。今回のうめきたエリアの開業は、大阪・関西の更なる発展へのスタート地点だと考えています。鉄道ネットワークの拡大とともに、さらなる利便性の向

うめきた2期区域の基盤整備事業として、JR西日本では大阪駅(うめきたエリア)の地下ホーム設置を進め、令和5(2023)年3月18日「大阪駅西口」「大阪駅うめきた地下口」ふたつの新しい改札口を開業。ふたつの新改札口を改札内の地下通路でつなぐことで大阪駅を西へと広げ、地区全体の利便性向上を図りました。今後も、歩行者デッキ等の整備で更なる回遊性向上を目指しています。

さらに、今回のダイヤ改正によりこれまで大阪駅を経由しなかった関西国際

新改札口「うめきた地下口」開設
交通アクセスがさらに便利に



自然と都市の融合 うめきたエリアが めどりに包まれる

GRAND GREEN OSAKA グラングリーン大阪

みどり うめき 自然と

自然と都市の融合 うめきたエリアが めどりこ包まれる